

令和7年度

総合的な学習の時間 第4学年 指導計画

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

単元名「川は自然の宝箱」一学年一実践（70時間）体験活動24時間

- 【ねらい】 ○多摩川の自然に関心をもって体験活動や問題解決学習を行うことを通して、課題追究の力を身に付ける。
○体験活動や問題解決学習を通して地域の自然への親しみや愛着をもち、自然環境を守るために自分達がどのように関わればよいのか考え、行動する。

多摩川で「発見」や「はてな」を見つけよう（27時間）

- 【つかむ】 ○谷戸田や地域の水の流れが多摩川につながることを調べ、自然の様子や多摩川とのつながりを考える。
○多摩川での「川の観察」「ガサガサ」「バードウォッチング」等の共通体験を通して、川の自然に慣れ親しみ、課題設定をする。

多摩川博士になろう（25時間）

- 【追究する】 ○自分のテーマを決めて、追究する計画をたて、現地調査や資料等を活用して調べる。
【まとめる】 ○調べて分かったことを、作品にまとめる。また、調べたことから多摩川の自然や自分たちの関わり方について考える。
○学習してきたことが、SDGsとどのような関連があるのか考え、話し合う。
【発信する・行動する】 ○まとめた作品をもとに、調べたことや多摩川について考えたことを発表する

多摩川とわたしたち（18時間）

- 【発信する・行動する】 ○これからの多摩川がどうあってほしいか、自分には何ができるか考え、仲間と話し合い、実践する。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 川には多種多様な生き物が共存して生息し、生態系を形成していることを理解することができる。 専門家の方の話を聞いたり、図書やインターネットを活用して、必要な情報を集めたり、活用したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の川の自然環境についてテーマを設定し、活動の計画を立て、話し合いなどを通して考えを深め、探究活動を行うことができる。 活動の様子や自分たちの考えを整理・分析してまとめ、仲間や地域の人に分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の川の自然や環境に関心をもち、意欲的に探究活動を行おうとする。 仲間や地域の方々と積極的に関わりながら、よりよい環境を作りだすために自分たちができることを考え、協力して行動することができる。

【地域人材・関係機関】

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| ○多摩市水辺の楽校 | ○自然観察指導員 | ○建設技術研究所 |
| ○博物館の学芸員 | ○地域の野鳥愛好家 | ○地域の専門家の方々 |
| ○大師河原干潟館 | ○京浜河川事務所 | ○東京農工大学 |
| | | ○河川財団 |